

近

二年

画数 7
筆順 ノ、イ、斤、斤、近、近
オン キン
クン ちかいい

成り立ち



御 近 近 近

斧のかたちをあらわし、木をきる音をあらわす「斤」と、「道を進む」いみの「辶」とを組み合わせてつくりました。道を進んでいて、木をきる音をきくことをあらわしたものです。木をきっている人のすがたは見えませんが、その音で、「ちかい」ところにいることがわかります。それで、「ちかい」といういみをあらわしたのです。「ばしよが近い」ことから「ときが近い」こと、「かんけいが近い」ことなどにつかいます。また、「近づく」こと。

使い方

▽近。のうちに、わたしの近親のものが、この近所にひっこしてきます。
▽たいふうが接近してきたので、近海に出ている船は付近のみなどにひなんをはじめました。

熟語例

▽近近(近近。近いうちに)
▽付近(その近く。近所)
▽近所(近い所。「じぶんのいえの近くにあるいえ」といういみにつかいます。)
▽近海(近くの海)
▽接近(近づくこと。)
▽近親(かんけいが近い親族。親子が「ばん近く、つきがきようだい」おじ、おば」「おい、めい」といういみになります。)
▽近眼(近くは見えるが、遠くはよく見えない目のこと。近視ともいいます。)
▽遠くの親戚よりも近くの他人(いざというときには遠くにいる親戚よりも、他人でも近所の人のほうがたよりになるので、親しむようにせよというおしえ)

兄

三年

画数 5
筆順 一、口、尸、兄
オン キョウ・ケイ
クン あに

成り立ち



兄 兄 兄 兄

人の形をあらわした「儿」と「口」とを組み合わせて作った字です。「口」がたっしやな「人」といういみの字で、子どもの中で一番先に生まれて、弟や妹たちのせわをする「口のたっしやな『あに』」をあらわした字です。兄は「口の人」だとおぼえてください。

〔キョウは呉音で、「兄弟」のように、昔から使われている言葉に使われ、新しい言葉は、「父兄会」「実兄」などのようにケイという漢音で読む。〕

「儿」は「人脚」と呼ばれるが、この「脚」は「扁旁冠脚」の脚であって、文字を上下に分解した時の下の部分の称である。「人の脚」を表したものではなくて、「人そのもの」を表した部首であることに注意する。〕

使い方

▽ぼくの兄は、ぼくよりも三つ年上ですが、とてもやさしい兄で、ぼくがわがままをしてもゆるしてくれますので、兄弟げんかをしたことはほとんどないと思います。

熟語例

▽兄弟(同じ親の子どもの中で年上のものを兄、年下のものを弟。(2年197)といいます。「兄と弟」、または「兄と弟のかんけい」といういみにつかわれます。「兄弟げんか」は「兄と弟とでけんかをする事」です。漢音で「ケイテイ」と読むこともあります。)
▽兄弟子(自分より先に、同じ先生について学んでいる人のことをいいます。㊦「弟弟子」)
▽父兄(父や兄)
▽父兄(実の兄。夫や妻の兄、また、姉の夫を「義兄」というのにたいすることばです。)
▽貴兄(手紙で、あい手のことをいうのにつかうことばです。「あなた」というかわりにつかいます。)
▽兄事(事は、「つかえる」いみで、「ある人をそんけいして、兄としてつかえること」をいいます。)